

第1回利府町震災復興計画策定委員会 開催結果

- 1 開催日時 平成23年7月15日（金）
午後1時30分から午後3時45分まで
- 2 開催場所 利府町役場2階 第2会議室
- 3 出席委員数 13名
- 4 委嘱状交付
第1回利府町震災復興計画策定委員会の開催に先立ち、委員への委嘱状の交付を行った。
- 5 委員長及び副委員長選出
- 6 協議内容
 - (1) 東日本大震災に係る本町の被害状況・復旧状況について
東日本大震災における本町の被害状況・復旧状況について事務局より説明を行った。
 - (2) 利府町震災復興基本方針（たたき台）について
「利府町震災復興基本方針（たたき台）」について協議を行った。
《主な質疑事項》
 - Q 浜田・須賀地区は幹線道路において冠水している。また大潮の時期が近付いている。住宅地の集団移転について記載があるが再建の方向性について町としてどのように考えているか。
 - A 地震により地盤沈下が発生しており、問題として認識している。道路のかさ上げや高台への集団移転などの検討を進め、計画に盛り込みたいと考えている。
 - Q 今回の震災で浜田・須賀地区の漁港や住宅が大きな被害を受けた。原因の1つとして護岸工事の遅れがあったと思われる。国や県の事情により据え置かれていた面もあったと思うが、再度災害を起こさないためにも護岸工事を進めていくべきと考える。

- A 漁港被害については、現在担当課において調査中である。被害状況や必要性について検討し、必要と思われるならば計画に盛り込みたいと考えている。

(3) 策定体制及びスケジュールについて

利府町震災復興計画策定体制、スケジュール」に基づき事務局より説明を行った。

《主な質疑事項》

- Q 「復旧」と「復興」を分けて考え、整理する必要があるのではないか。沿岸部の被害が大きかった自治体では、今後の方向性が示されないと復旧すらできない地域がある。本会議において期待されているのは、短期的な個々の復旧ではなく災害に強い今後のまちづくりの議論であると思う。本日提起された方針においては、短期的な取組と長期的な取組が併記されていてわかりにくくなっている。事務局において整理して記載していただきたい。
- A 記載のとおり、本計画の期間は6年間と位置付けている。ご指摘の内容を逸脱しないようもう一度点検しわかりやすく整理したい。

(4) 意見交換

各委員から本震災・復興計画に関して自由に意見交換を行った。